

舞台芸術の

関係性

をめぐる

連続講座

2022

持続可能な
創造環境に向けて

対象 舞台芸術をはじめ芸術、文化活動・事業に携わっている方。本講座で学びたい方、興味のある方はどなたでも。

受講料 全講座(7回) | 一般:5,000円 学生またはON-PAM会員:3,000円
2023年1月5日(木)23:59までのお申込み限定です。

各講座(1回) | 一般:800円 学生またはON-PAM会員:500円

開催場所 オンライン。申込者にZOOMアドレスを送付します。
※UDトークによる日本語字幕配信を予定しています。
※資料を画面共有する場合がありますので、デバイスは文字の読みにくいスマホではなく、タブレットやPCでお願いします。

**アーカイブ
動画視聴** 本講座にお申し込み頂いた方は、リアルタイムでの受講に加え、アーカイブ動画をご視聴頂けます(ハラスメント編を除く)。
実施済み講座も、アーカイブ動画視聴の申込みができます。
視聴期間 | 各講座終了後(編集のため数日後に掲載します)~2023年3月19日(日)
※講座の内容は基本的にリアルタイム受講に合わせています。
できるだけ当日に「ライブで」ご参加ください。

**お申込み
方法** Peatixからお申込みください。
<https://onpam-renzokukouza2022.peatix.com>



**お申込み
バッチ** リアルタイム受講 | 各講座の前日 23:59
締切までにお申し込み頂いた方には、リアルタイム受講用のZOOMアドレスをお送りします。
締切後にお申し込みされた方には、後日アーカイブ動画視聴のためのURLをお送りします。
アーカイブ動画視聴 | 2023年3月12日(日) 23:59

お問合せ E-mail | info@onpam.net

主催 | 特定非営利活動法人舞台芸術制作者オープンネットワーク
(ON-PAM)

助成 | 公益財団法人セゾン文化財団

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京



舞台芸術制作者オープンネットワーク(ON-PAM)は、アーティスト・芸術団体と観客の間を繋ぐ仕事に携わる人たちの全国的・国際的な会員制ネットワークです。舞台芸術を推進する者が主体的に参加し、各々の仕事を通じて日々更新される情報やアイデアを交換、共有し、活動の展開につなげる場を形成します。そして、同時代の舞台芸術の社会的役割の定義・認知普及、文化政策などへの提案・提言を行い、舞台芸術及び社会全体の利益の増進に寄与することを目的としています。

ON-PAMでは会員を募集しています。

興味のある方は、ウェブサイトの入会案内をご覧ください。

<http://onpam.net/>



舞台芸術の

関係性

をめぐる

連続講座

2022 ~持続可能な 創造環境に向けて

誰もが安全で、安心して表現の場に参加し、鑑賞や体験ができることが、ますます望まれています。それがいかに大切か、個々人の内面に寄り添いながら、専門家の知見と様々な事例を通して学びます。可視化されにくい事実に向けて、社会と芸術のあり方についてアプローチする、オンライン講座です。お互いにより良い関係性を築くことから、持続可能で豊かな創造環境について一緒に考えてみませんか。

全
7
回

2022年11月30日[水] ————— 2023年3月9日[木]



舞台芸術制作者
オープンネットワーク

各回終了後、参加自由のおしゃべり会を30分ほど行う予定です。

第1回

ジェンダー編[1] LGBTQについて

2022年
11月30日[水]
19:00-21:30

※開始時間を過ぎてからのご参加は極力お控えください。ネット接続の不具合などによる10分程度の遅れなどは考慮いたしますが、そうでない場合はリアルタイムの受講を見合わせ、アーカイブ動画をご視聴ください。

多様な性のあり方について、たとえ浅くても正しい知識を身につけることが求められています。それが「理解を深める」ことでもあり、誰もが同じ立場でいることが当たり前になるための、誰かが傷ついてしまわないようにするための、第一歩と言えるでしょう。LGBTQの基礎的な知識や日本の現状について知り、性に関わりがあり人間そのものを扱う、舞台芸術の創造の場における考え方を学びます。

講師



和田華子
俳優
©Eiri Motoyoshi

スピーカー



坂本もも
ロロ・範宙遊泳プロデューサー
合同会社範宙遊泳代表
多摩美術大学非常勤講師

第2回

コミュニケーション編

2022年
12月19日[月]
19:00-21:30

閉じられた環境下で、年齢、性別などの属性や、立場やキャリア等にしばられることなく、すべての人がストレスなく自由に創作に打ち込めるようになるためには？ 相手を否定するのではなく、相互の関心とリスペクトをもとに生まれる信頼関係から、創造に結びつくコミュニケーションのあり方について共に考える機会です。

講師



田村かのこ
アートトランスレーター
Photo by: 松岡一智 | Ittetsu Matsuoka

スピーカー



古元道広
舞台芸術制作者

第3回

ハラスメント編

2023年
1月6日[金]
19:00-21:30

※開始時間を過ぎてからのご参加はできるだけお控えください。また、講座の収録を行わないため、アーカイブ動画視聴もできませんので、ご注意ください。

2022年4月からいわゆるパワハラ防止法が中小企業にも義務化される一方で、舞台芸術界で起こるハラスメントに対して、より適切な対応をとる必要性が高まっています。ハラスメントの構造やパワハラの種類をはじめ、被害者の心理、被害者対応、加害者にならないための意識、主催者としての責任など、ハラスメントに関して基本から理解し、その防止に活かすことを目指します。

講師



高山直子
カウンセリング & サポートサービスN
カウンセラー

第4回

文化権と法律編

2023年
1月26日[木]
19:00-21:30

日本国憲法第二十五条「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を基点として、表現の自由と共に誰もが芸術文化について「参加」「享受」「創造」することのできる重要性について学びます。公立劇場等の現場での実情もふまえ、文化権と芸術文化に関する基本法、文化政策のつながりについても考えます。

講師



中村美帆
青山学院大学
総合文化政策学部准教授

スピーカー



岸正人
公益社団法人
全国公立文化施設協会
事務局長兼専務理事

第5回

ジェンダー編[2] ジェンダーバランスについて

2023年
2月13日[月]
19:00-21:30

表現の現場調査団による「ジェンダーバランス白書2022」が8月に発表され、表現の分野でのジェンダーバランスの不均衡が浮き彫りになりました。その背景にある歴史的な経緯と社会的な構造をとらえつつ、無意識のジェンダーバイアス、同質性、権力勾配、ハラスメントとの関係を見据え、機会の平等性等について考えます。

講師



田中東子
東京大学大学院
情報学環教授

スピーカー



森本ひかる
アクタートレーナー・ファシリテーター



端田新菜
俳優
劇団青年団・劇団ままと所属

第6回

インクルージョン編

2023年
2月22日[水]
19:00-21:30

創作や鑑賞の場における「社会包摂」のありようと、その根本を見つめ直します。最前線での知見を得ながら現実には起きているギャップをつかみ、「芸術の質」と共にどのような目標が有効かを考えます。あらゆる人にひらかれてゆく「生きるための芸術」を土台に、表現の可能性がひろがるような、社会と芸術の関係が想起されることでしょう。

講師



中村美亜
九州大学大学院
芸術工学研究院准教授

スピーカー



千田優太
一般社団法人アーツグラウンド
東北代表理事



森田かずよ
ダンサー・俳優



藤原顕太
一般社団法人ベンチ理事

第7回

アップデート特別編

2023年
3月9日[木]
19:00-21:30

昨年の「舞台芸術の「契約」にまつわる連続講座2021」での、基礎編、労働環境編、権利編、事業委託編、著作権編、税務・会計編について、新たな情報を持ち寄り、アップデートします。さらに、2022年度の当連続講座を振り返り、テーマ同士の関連性をたどるなど、様々な見地から総合的に考えが交わされる場です。

スピーカー



伊藤達哉
ゴーチ・ブラザーズ代表取締役
一般社団法人緊急事態舞台芸術
ネットワーク常任理事・事務局長



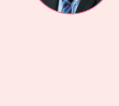
坂本もも
ロロ・範宙遊泳プロデューサー
合同会社範宙遊泳代表
多摩美術大学非常勤講師



武田知也
舞台芸術プロデューサー
一般社団法人ベンチ代表理事



藤原顕太
一般社団法人ベンチ理事



古元道広
舞台芸術制作者
矢作勝義
徳の国とよはし芸術劇場PLAT
芸術文化プロデューサー
劇場、音楽堂等連絡協議会会長

アップデート特別編を受講される方に限り、2021年度の「舞台芸術の「契約」にまつわる連続講座2021」全6回のアーカイブ動画をすべて、期間限定でご視聴頂けます。別途、お申込みや料金は不要です。